

## オオサキワンダーミュージアム 人と大自然の青空博物館

vol.28

大崎耕土インスタフォトコンテスト  
の作品を募集中です!!

世界農業遺産推進課自然共生推進担当 ☎23-2281

大崎耕土が平成29年に世界農業遺産に認定されてから今年で5年目を迎えました。

大崎地域世界農業遺産推進協議会では、認定5周年を記念し、「大崎耕土インスタフォトコンテスト」を開催しています。このフォトコンテストでは、大崎耕土をこれまで以上に多くの人に知ってもらい、未来につないでいくことを目的に、さまざまな写真をInstagramで広く募集しています。

募集期間は、9月30日(金)までで、応募する際は、協議会公式Instagramアカウント(@osaki\_giahs)をフォローの上、応募専用ハッシュタグ「#大崎耕土フォトコン」を付けて作品を投稿してください。入賞者には景品として、大崎地域の地場産品などが贈呈されるほか、入賞作品は、令和5年大崎耕土卓上カレンダーにも採用されますので、ぜひ応募してください。詳しくは、大崎耕土ウェブサイトを確認してください。

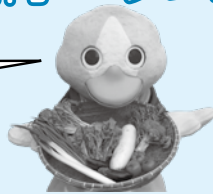
大崎耕土ウェブサイトQRコード▶



## 大崎さんの食育コラム

その16

水分補給のポイント!



世界農業遺産推進課企画調整担当 ☎23-2281

暑い時期は、汗をかいて体温を調整するため、体の水分が多く失われるよ。夏は、冷たい飲み物がおおいしく感じられるよね。だけど、冷たい物を飲み過ぎると、体に負担がかかるから気をつけよう!

炭酸飲料・果汁飲料・スポーツドリンク・甘みのある水などの清涼飲料水には、糖分が多く含まれていて、糖分を取り過ぎると、喉が渇いたりしてしまいうから注意が必要だよ。

上手な水分補給で、暑い夏を元気に過ごそう!

理想的なのは、朝、起きた時や、寝る前、お風呂に入る前など、汗をかく前に水分を取るの効果がだよ。水分を取る際には、一度にたくさん水分を取らないで、少しずつ口に含ませるような感じで水分を補給し、飲む量は水やお茶などをコップ一杯程度にしてね。

## 市長コラム 天地人

青天を衝け

先日、古川商工会議所の創立70周年記念式典が盛大に開催されました。

日本に初めて商工会議所が設立されたのは、明治11年(1878年)東京商工会議所です。初代会頭は、日本資本主義の父、日本商工会議所の父と称された渋沢栄一翁です。

昨年のNHK大河ドラマ「青天を衝け」は、渋沢栄一翁を主人公にしたドラマです。2024年から新一万円の札の顔になります。

その渋沢栄一翁は、大崎市と浅からぬご縁があります。1840年、現在の埼玉県深谷血洗島で農民の子として生まれ、21歳の時、江戸に出て修行したのが神田お玉ヶ池の千葉道場です。

千葉道場を開いた剣豪千葉周作は、古川荒谷で少年時代を過ごし、その後、江戸に上り北辰一刀流を開祖しました。

栄一青年は、千葉道場で青雲の志を立て、大きな世



大崎市長 伊藤康志

界に羽ばたきました。また、パリ万博博覧会に幕府の一員として随行し、帰国した渋沢栄一翁を明治政府の民部大蔵省に招いたのは、当時の民部卿、大蔵卿であった宇和島藩の八代藩主伊達宗城公です。宇和島藩の初代藩主は伊達秀宗公で、秀宗は伊達政宗の長男で幼少時代を岩出山で過ごしています。

宇和島市と大崎市(岩出山は姉妹都市)でもありません。

そのようなご縁もあり、渋沢栄一翁は東北に強い関心を抱き、東北振興にもご尽力いただきました。

古川商工会議所も70周年を踏み台にして、「青天を衝け」がごとく、更なる発展をされますことを期待しております。

大崎市公式SNS 発信中です!

Twitter フェイスブック

市公式SNS (Twitter、Facebook) では、観光やイベント情報など、さまざまな最新情報を発信しています! QRコードから、登録をお願いします。

@osaki\_city

Facebook

秘書広報課広報広聴担当 ☎23-5023

## みんなでエコっぺ!

~やってみよう「エコ活」~

環境保全課環境保全担当 ☎23-6074

### Vol.2 ~農産物直売所に行ってみよう~

皆さんは「農産物直売所」に行ったことはありますか? 地元農産物は新鮮で、生産者が分かり安心感があるなど、地元農産物を買うこと(地産地消)には多くのメリットがあります。その中の一つに「温室効果ガス排出の削減」があります。

現在、日本ではカロリーベースで約60%を輸入食品で賄っていることから、その分、輸送に必要な温室効果ガスの排出が増えています。

それに比べて国産、特に地元や旬の食材は輸送や温室の使用が減少するため、温室効果ガスの排出を抑えることができます。

■国産・地元食材を使用した場合  
(年間のCO<sub>2</sub>削減量:地産地消8キログラム/人、旬の食材36キログラム/人)

食材を買うときは、農産物直売所やスーパー等の地場産品コーナーにも行ってみましょう。

▶市ウェブサイト「おおさき観光情報農産物直売所」QRコード



今月の表紙

6月29日、令和4年度第2回大崎地区中体連連絡協議会駅伝競技大会が開催され、市内の中学校12校から男子・女子それぞれ12チームが参加しました。

田尻総合体育館前を発着点とするコースで、男子が18.0キロメートル6区間、女子が12.3キロメートル5区間を走りました。

選手たちは、炎天下、たすきを待つ仲間のもとへと、力強くスタートを切っていました。

男子は古川東中学校、女子は古川黎明中学校が見事優勝を果たしました。

宮城県中学校駅伝競走大会は、10月5日(水)に田尻地域において開催される予定です。

▶ゴールテープを切る古川東中学校の選手

広報おおさき8月号 2022 No.197

Main Contents	目次
04 楽しもう 大崎のまつり	
06 オオサキプレイガイド	
08 CITY TOPICS	
09 Discover OSAKI	
10 OSAKI Culture	
12 新型コロナウイルスワクチン接種情報	
13 くらしの情報 おおさき市民健診 ほか	
24 子育て支援情報 ほか	
26 相談コーナー	
28 Main Dish	